

# 平成26年度 ★実施計画 事業評価シート (25年度事業の評価)

## 1. 事業の概要(Plan)

事業名	事業No	418 消防施設等維持事業			
総合計画	めざますまの姿	3 安全で安心して暮らせるまち		担当部	消防本部
	基本計画【施策】	3-④消防・救急体制を整える		担当課	消防総務課
関連予算科目	一般 会計	09 款 消防費	01 項 消防費	02 目 消防施設費	
	予算事業名	基本事業 (事業1)	消防施設管理運営費	細事業名 (事業2)	消防施設等維持事業
実施主体	市	実施方法	一部又は全部委託	対象	全市民
事業期間	開始年度	—	終了予定年度	—	
事業の目的	①消防団の車両、市内消防施設の維持管理を実施することで、安全な基盤ある町づくりを図る ②火災発生時の被害を軽減するため、消防水利の維持管理を行う。				
事業の概要	①消火栓の維持管理 ②消火栓格納箱、消防ホース等の設置維持管理を行う。				

## 2. 事業の実績(Do)

事業実績	①老朽化消火栓格納箱の交換 36基 ②新規消火栓格納箱の設置 3基					
課題	消火栓格納箱の腐食・老朽化が進んでいる。					
コスト	事業費(A)	当初予算額	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
		決算(見込)額	11,401 千円	11,553 千円	12,383 千円	
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	千円	千円	千円	
		一般財源	10,335 千円	9,740 千円	12,383 千円	
	人件費(B)	4,906 千円	4,334 千円	7,835 千円		
	人工(職員数の内訳)	0.6 人	0.6 人	1.0 人		
トータルコスト(A)+(B)	15,241 千円	14,074 千円	20,218 千円			
活動指標	内容	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
		基	目標	35	35	35
			実績	59	30	
		達成度	168.6%	85.7%		

## 3. 評価(Check)

総合判定	A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」 《判定理由》 火災発生時の初期消火等、被害を軽減するために必要である。	
------	-------------------------------------------------------------------	--

## 4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後の方向性	事業の方向性	継続
今後の方向性	今後の取組内容 (課題に対する改善等)	①消防水利の調査を行い、不備事項について保守点検整備を実施出来る様に予算要求を行う。

# 平成26年度 ★実施計画 事業評価シート (25年度事業の評価)

## 1. 事業の概要(Plan)

事業名	事業No. 431 耐震性貯水槽等整備事業					
総合計画	めざまちの姿	3 安全で安心して暮らせるまち			担当部	消防本部
	基本計画【施策】	3-④消防・救急体制を整える			担当課	消防総務課
関連予算科目	一般 会計	09 款 消防費	01 項 消防費	05 目 地震対策費		
	予算事業名	基本事業 (事業1)	耐震性防火水槽整備費	細事業名 (事業2)	耐震性貯水槽等整備事業	
実施主体	市	実施方法	市が直接実施・運営	対象	全市民	
事業期間	開始年度	昭和56年度	終了予定年度	平成42年度		
事業の目的	①東海地震等の大規模災害における災害に対応する。 ②火災発生時の被害を軽減する。					
事業の概要	新湖西市総合計画に基づき、耐震性貯水槽を設置する。					

## 2. 事業の実績(Do)

事業実績	耐震性貯水槽100㎡設置：2基 場所 湖西市大知波（大知波交差点県道敷植樹帯内）・新居町柏原（文化公園西市有地）				
課題	①耐震性貯水槽の土地の確保が難しい。②耐震性貯水槽の設置 経費削減が図れるか。				
コスト	事業費(A)	当初予算額	平成24年度	平成25年度	平成26年度
		決算(見込)額	31,677 千円	(繰越) 31215 千円	0 千円
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	12,793 千円	28,174 千円	千円
		一般財源	12,793 千円	17,226 千円	千円
	人件費 (B)	5,888 千円	10,948 千円	0 千円	
	人工(職員数の内訳)	0.8 人	5,121 千円	490 千円	
トータルコスト(A)+(B)	18,681 千円	0.7 人	33,295 千円	0.1 人	
活動指標	内容	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度
耐震性貯水槽設置数	基	目標	2	2	
		実績	1	2	
	達成度		50.0%	100.0%	

## 3. 評価(Check)

総合判定	<p style="text-align: center;">A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」</p> <p>《判定理由》</p> <p>東海地震等の大規模災害に対応し、火災発生時の被害の軽減をおこなうために必要である。</p>	
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--

## 4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後の方向性	事業の方向性	継続
今後の取組内容 (課題に対する改善等)		<p>①市有地、自治会用地、学校、神社寺院等の協力を得て、設置場所の確保を行う。</p> <p>②設置候補地の地質に対応し、適した工法を選択し、経費の出費を抑える。</p> <p>③国、県補助金の確保</p>

# 平成26年度 ★実施計画 事業評価シート (25年度事業の評価)

## 1. 事業の概要(Plan)

事業名	事業No	440 予防啓発事業費				
総合計画	めざすまちの姿	3 安全で安心して暮らせるまち			担当部	消防本部
	基本計画【施策】	3-④消防・救急体制を整える			担当課	予防課
関連予算科目	一般 会計	09 款 消防費	01 項 消防費	06 目	常備消防費	
	予算事業名	基本事業 (事業1)	火災予防費	細事業名 (事業2)	予防啓発事業費	
実施主体		実施方法		対象	全市民	
事業期間	開始年度	昭和48年度	終了予定年度			
事業の目的	市民の火災予防の意識向上を図る。					
事業の概要	①事業所、自治会、幼稚園等への訓練指導 ②住宅用火災警報器設置推進 ③防災、防火管理講習会の開催 ④火災予防広報					

## 2. 事業の実績(Do)

事業実績	①消防訓練指導8,144人、花火教室14園（幼稚園・保育園） ②市内駅前街頭指導、あらいじゃん・Kトラ市啓発ブース設置約広報活動、モニター広告等啓発活動実施 ③受講修了者48人 ④市内街頭広報等					
課題	超高齢化社会に伴う、一人暮らし高齢者、高齢者世帯等の増加に伴う、火災からの逃げ遅れ					
コスト	事業費(A)	当初予算額	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
		決算(見込)額	785 千円	685 千円	939 千円	
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	千円	千円	千円	
		一般財源	779 千円	544 千円	939 千円	
	人件費 (B)	5,643 千円	6,077 千円	4,652 千円		
	人工(職員数の内訳)	0.7 人	0.8 人	0.6 人		
トータルコスト(A)+(B)	6,422 千円	6,621 千円	5,591 千円			
活動指標	内容	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
		% 平成26年度 から(人)	目標	70	70	52
		実績	69	72		
達成度	98.0%	102.9%				

## 3. 評価(Check)

総合判定	A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」	必要性 有効性 優先性 効率性
	《判定理由》 消防目的達成のために必要な事業です。	

## 4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後の方向性	事業の方向性	継続
	今後の取組内容(課題に対する改善等)	全戸調査員の配置・関係機関との連携強化

平成26年度 ★実施計画 事業評価シート (25年度事業の評価)

1. 事業の概要(Plan)

事業名 事業No	448 救急指導者育成事業			
総合計画	めざまちの姿	3 安全で安心して暮らせるまち		担当部 消防本部
	基本計画【施策】	3-④消防・救急体制を整える		担当課 警防課
関連予算科目	一般 会計	09 款 消防費	01 項 消防費	06 目 常備消防費
	予算事業名	基本事業(事業1) 警防推進費	細事業名(事業2)	救急指導者育成事業
実施主体	市	実施方法	市が直接実施・運営	対象 特定の団体 市内事業所、消防団員
事業期間	開始年度	平成23年度	終了予定年度	—
事業の目的	消防団員等を応急手当指導員に育成したり、事業所等の職員を応急手当普及員に育成することにより、市民等への救急処置の普及を強化する。			
事業の概要	①応急手当指導員、応急手当普及員の養成			

2. 事業の実績(Do)

事業実績	①普及員講習1回1名 普及員再講習2回10名					
課題	事業所により応急手当普及員講習への参加状況に差がある					
コスト			平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	事業費(A)	当初予算額	161 千円	653 千円	568 千円	
		決算(見込)額	157 千円	650 千円	千円	
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	51 千円	180 千円	174 千円	
		一般財源	106 千円	470 千円	394 千円	
	人件費(B)		1,185 千円	1,119 千円	1,058 千円	
	人工(職員数の内訳)		0.2 人	0.1 人	0.1 人	
トータルコスト(A)+(B)		1,342 千円	1,769 千円	1,626 千円		
活動指標	内容		単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	応急手当普及員講習受講者数	人	目標	25	25	25
			実績	18	10	
		達成度	72.0%	40.0%		

3. 評価(Check)

総合判定	B 「課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業」	
	《判定理由》 応急手当普及員制度の認知度が低いため	

4. 今後の事業の方向性(Action)

今後の方向性	事業の方向性	継続
	今後の取組内容(課題に対する改善等)	事業所へ出向き担当者へ応急手当普及啓発を行うとともに普及員講習の受講を促す

# 平成26年度 ★実施計画 事業評価シート (25年度事業の評価)

## 1. 事業の概要(Plan)

事業名	事業No.	451 公用車維持管理費			
総合計画	めざますまの姿	3 安全で安心して暮らせるまち		担当部	消防本部
	基本計画【施策】	3-④消防・救急体制を整える		担当課	消防署
関連予算科目	一般 会計	09 款 消防費	01 項 消防費	06 目	常備消防費
	予算事業名	基本事業 (事業1)	消防活動費	細事業名 (事業2)	公用車維持管理費
実施主体	市	実施方法	市が直接実施・運営	対象	全市民
事業期間	開始年度	昭和48年度	終了予定年度	-	
事業の目的	緊急車両等を適正に維持管理することにより、常に消防力の充実を図る。				
事業の概要	消防車両（一般車両含む）の法定点検等による維持管理の他、消防車両の特殊装備の維持管理				

## 2. 事業の実績(Do)

事業実績	車両27台の車両維持（燃料費、車検・点検費用、修理代） 南分署消防車 パワーステアリングギヤボックスオイル漏れ修理、フロントブレーキオーバーホール 他					
課題	使用年数が長い車両の故障頻度が多い。					
コスト	事業費 (A)	当初予算額	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
		決算（見込）額	7,785 千円	7,331 千円	7,848 千円	
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	千円	千円	千円	
		一般財源	8,372 千円	7,003 千円	7,848 千円	
	人件費 (B)	千円	20,307 千円	20,550 千円		
	人工（職員数の内訳）	人	2.6 人	2.7 人		
トータルコスト (A) + (B)	8,372 千円	27,310 千円	28,398 千円			
活動指標	内容	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
		台	目標	11	11	11
			実績	11	11	11
達成度	100.0%	100.0%				

## 3. 評価(Check)

総合判定	<p style="text-align: center;">A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」</p> <p>《判定理由》</p> <p>車両更新が大幅に遅れているため、修繕費用が増加しているが、法令に基づく整備は実施できている。</p>	<p>必要性</p> <p>有効性 優先性</p> <p>効率性</p>
------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------

## 4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後の方向性	事業の方向性	継続
今後の方向性	今後の取組内容（課題に対する改善等）	主力機械器具の整備（毎月整備）の実施項目を充実させた。